

# みさと 市議会だより



No. 197

2024年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の魂  
三郷市議会だより  
No. 197



校歌  
作詞 市村 五月  
作曲 尾崎 正三

一、水と緑の わがまちの  
大空高く 神針塔  
遠くまで 考え  
希望に燃えて 後谷の  
我がが誇る 小学校  
我がが誇る 小学校

二、古き伝統 万葉の  
若駒草輪の 民生地  
仲良くいつも 助け合う  
理想は高く 後谷の  
大地に根ざす 小学校  
我がが誇る 小学校

三、東に筑波 西に雲土  
東かに突り 開けゆく  
輝るく強く 元氣よく  
大志を胸に 後谷の  
未来へ伸びる 小学校  
我がが誇る 小学校



## 主な内容 令和6年3月定例会

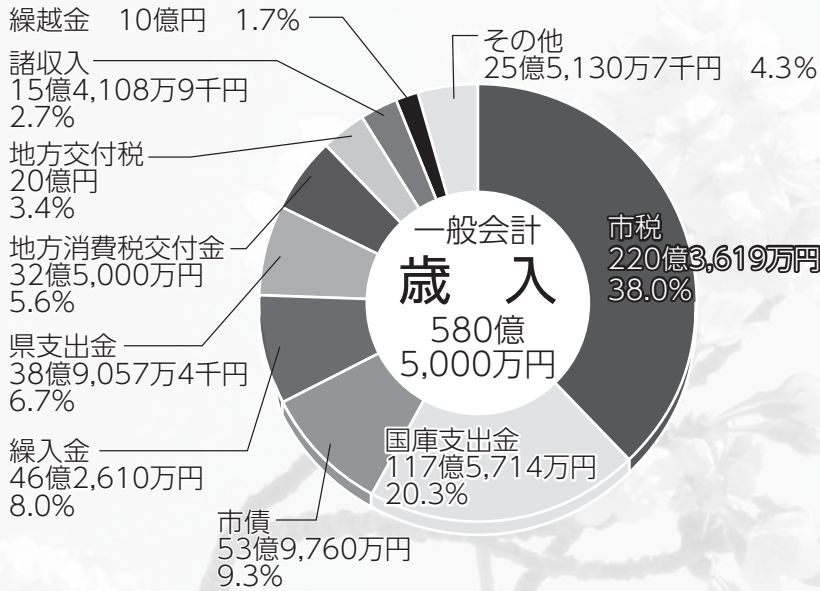
- 令和6年度予算を審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 論点「空家の適切な管理で 安心・安全なまちへ」・・・・・・ 6
- 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 令和6年第1回臨時会及び3月定例会提出議案とその結果・・ 12
- 議会あれこれ①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 国・政府に要望・議会あれこれ②・人事案件・・・・・・ 14
- 読者の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

ありがとう  
後谷小学校



# 令和6年度予算を審査

3月定例会では、令和6年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ19億5千万円（3.5%）の増額となる580億5千万円で、予算規模として過去最大となり、17年連続で前年度予算を上回るものとなりました。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業に対して国から交付されるお金
市 債	市が長期にわたって借りるお金
繰 入 金	基金などから繰り入れるお金
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付されるお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、三郷市分として交付されるお金
地 方 交 付 税	財政状況に応じて国から交付されるお金
諸 収 入	学校給食納付金、有価物等売却代など
繰 越 金	前年度一般会計から繰り越されるお金
そ の 他	分担金、負担金、使用料、手数料、地方譲与税など

## 令和6年度の主な事業

## 3つの柱

### 重点テーマ

#### ○持続可能な拠点の形成 ～まちづくりは道づくり～

- 三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化
- 南部地域拠点防災コミュニティ施設整備
- トイレトレーラー購入

#### ○多様性のある地域の確立 ～地域コミュニティの充実～

- 自動翻訳システムの導入、遠隔窓口システムの増設
- 各種申請書の自動作成等が可能になるスマート窓口の拡大
- 言語聴覚士等による朗読会の開催

#### ○質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化 ～子どもたちの成長を見守る・夢を育む～

- (仮称) 瑞沼学校給食センターで中学校給食の提供開始(令和7年1月予定)
- 通所による産後ケアの開始
- 認可保育園等における障がい児預かりに対する補助を拡大

#### ○重点テーマ以外の事業

- コンビニエンスストア等での証明書交付手数料の減額(一律100円)
- 特定健康診査の自己負担額無料化
- みさとシティハーフマラソン大会を日本陸上競技連盟公認大会として開催
- など

# 令和6年度 施政方針

## 三郷市の更なる発展に向けて ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり



三郷市長 木津 雅晟

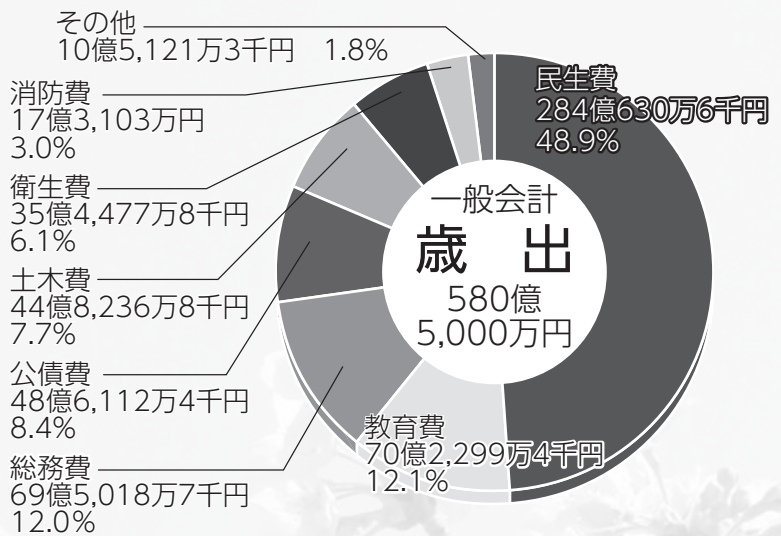
昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行して以来、社会経済活動が本格的に再開し、ようやくこれまでの日常が戻ってまいりました。本市におきましても多くのイベントを4年振りに開催できたところでございます。

一方、社会情勢に目を向けますと、少子高齢化の進行、社会のデジタル化、災害の激甚化など、市民生活や事業活動に変化をもたらす事象が数多く存在しております。

本市といたしましては、妊産婦や子育て家庭への支援、高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるための取り組み、市の業務にデジタル技術を活用することによる利便性向上や効率化などをさらに推進してまいります。

新年度におきましても皆様にご理解を賜りながら、社会の変化に的確に対応していくための施策を積極的に展開するとともに、本市のさらなる発展に向け『ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり』を推進してまいります。

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



歳出区分	説明
民生費	子ども、高齢者、障がい者などへの福祉全般の事業に使うお金
教育費	学校運営の費用や公民館、体育施設の管理運営などに使うお金
総務費	住民票の交付、市税の課税徴収など、市の総括的な事務に使うお金
公債費	市の借金を返済するために使うお金
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
衛生費	予防接種やごみの収集などに使うお金
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

令和6年度

## 特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

### 【特別会計別予算一覧表】

区分別		予算額
国民健康保険	歳入歳出	127億70万4千円
介護保険	歳入歳出	109億3,716万1千円
後期高齢者医療	歳入歳出	22億3,036万円
上水道事業※	収入	33億5,727万1千円
	支出	40億4,430万3千円
公共下水道事業※	収入	56億8,283万2千円
	支出	65億387万8千円

※上下水道事業は収益的収支(維持管理など)と資本的収支(建設改良など)の合計額です。

# 常任委員会の審査概要

## (一般会計)

議案をくわしく審査するために開かれた、各常任委員会での令和6年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

### 《総務常任委員会》

**問** 文化施設手数料、希望の郷交流センター使用料について、令和5年度予算と比べ減額で見込まれている理由は。

**答** 令和5年度の予算は収入の状況が不明であったため、全体の稼働率を多く見積もって算出した。令和6年度予算は、令和5年4月から8月までの使用料の平均をとり算出したところ、令和5年度と比べ減額となった。

**問** 情報処理機器及びネットワーク管理事業について、通信運搬費が増額となって

いるが、公開型のGIS(地図情報システム)がホームページでアクセスできるようにするなど利便性を向上させるための増額か。

**答** 利便性を向上させるためデータ通信量が増えるといわゆる速い回線が必要となる。速い回線の導入の検討などに伴った予算の増額である。

**問** 農業委員会費、委員会・事務局運営事業について、目標地図素案作成業務の内容は。

**答** 改正農業経営基盤促進法において、これまでの「人・農地プラン」を地域計画として法定化し、地域の農業者等の話し合いによる将来の農地利用の姿を目



令和5年2月オープン希望の郷交流センター

標地図として明確化し、農地バンクを通じた農地の集約化等を推進するための業務である。

そのほか、総合計画等策定及び管理業務、車両管理事務、人権推進事業、消防団機械器具置場新設事業などについて審議しました。

**討論として**、「一度きりの定額減税・給付金では物価高騰で幾重にも苦しむ市民生活の立て直しにはまったく見合っていない。国保

税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の値上げに市民の暮らしはますます厳しくなることから反対する」がありました。

### 《健康福祉常任委員会》

**問** シルバー人材センター補助事業について、課題は。

**答** 樹木の剪定など技能を必要とする仕事の受注が多いが、就業できる会員が減少していることが挙げられ、センターで樹木選定講習会等を開催して後継者の育成に努めていると聞き及んでいる。

**問** 日常生活用具給付事業について、在宅で人工呼吸器を使っているかたに対する災害時等の支援体制は。

**答** 発動発電機人工呼吸器外部バッテリー等を給付している。自家発電機等、災害時に必要なものについて、今後、国が日常生活用

具の対象品目として加えた際には、本市でも給付対象とした。

**問** こども医療費支給事業について、埼玉県の助成対象が令和6年4月から拡大されることだが、影響額は。

**答** 埼玉県からの補助金の対象は、未就学児のみから通院は小学校3年生まで、入院は中学校3年生にまで拡大され、4千万円の増額見込みとなっている。

そのほか、相談支援事業、民間保育所等運営支援事業などについて審議しました。



**討論として**、「物価高騰等により市民生活は逼迫している。子育て支援の前進は見られたが、抜本的な施策としては不十分であり、安心して子どもが育てられる環境整備、高齢になっても元気で暮らせるための施策を求め、反対する」、「新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい家計に、物価高騰等の打撃を受けやすい高齢者や子育て世代に対応した新規事業、拡充、継続された事業は、財政状況の厳しい中、市民ニーズに合ったものと考え賛成する」などがありました。

《文教経済常任委員会》

**問** スポーツ協会支援事業について、「みさとシティハーフマラソン」が公認レースになる影響は。

**答** 参加を希望する市民の方々が人数制限により影響

がないよう、埼玉陸連など、ノウハウを持っている専門機関やスポーツ協会の方々と相談し、プログラムや参加枠について検討していく。

**問** 市内一斉清掃事業について、市民への周知方法は。

**答** これまで町会長等連絡会議で案内を行っていたが、町会に加入していない、自治会が解散したなど様々な居住環境があるため、今後は、ホームページなどでの周知も検討していきたい。

**問** 地域クラブ活動整備事業について、令和6年度の計画は。

**答** 令和5年度の成果をふまえ、市内の中学生が休日の地域クラブ活動として参加できるよう広めていく予定である。

**問** 「日本一の読書のまち」推進事業について、出版社と連携した活動を行うとのことだが、詳細は。

**答** 小学校と幼児施設など

で読書活動を行う。小学生においては、1・2年生を対象に「イベント」か「授業」を学校が選択できるようになっている。

そのほか、学校保健支援事業、青少年育成事業などについて審議しました。



《建設水道常任委員会》

**問** 市内小中学校の校庭を活用した雨水貯留施設の設

計業務の詳細は。

**答** これまで小中学校16校の校庭において整備をしてきたが、令和6年度は高州小学校の校庭における整備の設計を行いたいと考えている。貯留の容量は、約1,000m<sup>3</sup>と想定しており、令和7年度中の工事着手を検討している。

**問** 三郷中央駅前広場再整備における令和5年度の進捗状況は。

**答** 三郷中央駅ロータリーにおけるタクシー乗り場とバス停の集約・再配置案について、交通事業者の説明を行い、おおむね了承をいただいた。

**問** におどり公園ステージの改修について、詳細は。

**答** ステージの床面を拡張するとともに、それぞれの階段の幅も拡張し、階段部分でも演者が利用できるよう改修する。また、ステージ背面の壁を左右方向に拡張することで、背面から

の風による影響の低減を図る。

そのほか、治水対策普及啓発事業などについて審議しました。

**討論として**、「昨年度と比べ土木費が減額となっているが、市民要望による歩道の整備等のために、さらなる予算確保が必要なため反対する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。



三郷中央駅タクシー乗り場

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案がどのように審査されたか、その要旨をお知らせします。

論点

# 空家の適切な管理で 安心・安全なまちへ

3月定例会  
2/26~3/15



■ 3月定例会には、市長から22議案が提出され、原案通り可決しました。

議案第11号 三郷市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例

〔内容〕法改正により、これまでの「特定空家等」に加え「管理不全空家等」が定義されたことにより、用語の追加を行うものなどです。

●「特定空家等」：そのまま放置すれば倒壊等著しく保安全上危険となるおそれのある空家等

●「管理不全空家等」：適切な管理が行われていないことによりそのまま放置すれば特定空家等に該当することとなるおそれのある空家等

▽本会議や委員会では、次のような質疑がありました。

問 管理不全空家等および特定空家等と判断される可能性のある空家の想定件数は。

答 管理不全空家等は約150件、特定空家等は約20件である。

問 管理不全空家等と認定された空家等の所有者に対し、市はどのような措置を行うのか。

答 所有者等に対し改善を促すため、一定の猶予期間を設けながら、助言、指導、勧告といった段階的な措置を講じる。

問 管理不全空家等において、土地・建物それぞれ所有者が異なる場合や、相続人が多数いる場合、市はどのように対応するのか。

答 土地と建物の所有者が異なる場合には、双方に連絡を取り、改善を促していく。また、相続人が多数いる場合についても、住民票や戸籍情報などにより相続人を調査のうえ、適切にアプローチしていきたい。



最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。

続いて討論・採決の結果、議案第11号は全議員賛成で可決しました。



市政に対する

# 一般質問

— 質問議員 —

篠田 隆彦  
深川 智加  
佐々木 修  
佐藤 智仁

西村寿美枝  
鳴海 和美  
宇治由紀子  
寺沢 美紗

齊藤 幹郎  
渡邊 雅人  
加藤 英泉

工藤智加子  
柳瀬 勝彦  
一色 雄生

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。  
※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

## 防災・減災まちづくりの方針について

**議員** 過去に起こった震災や豪雨

災害を教訓に防災対策の強化と被害を最小化する減災施策の推進を図り、「市民の生命・身体・財産・暮らしを守る防災都市の実現」に向けた取り組みが重要と考え、それらの災害対策事業について現状と今後の施策について伺う。

**市長** 防災・減災のまちづくりについては、被害を最小限にするための施策を推進し、都市の安全性を段階的に引き上げていくことが重要である。今後も強靱なまちづくりに取り組んでいく。

**危機管理監** 「自助」「共助」「公助」

が一体となった防災体制の確立を強固にするため、地域防災力の向上を目指し、固定系防災行政無線の更新整備、「仮称」南部地域拠点防災コミュニティ施設」の整備、トイレトレーラーの導入など、様々な取り組みを進めていく。

**建設部長** 引き続き三郷市の地域

特性などを踏まえ、治水安全度の更なる向上に努めていく。

**まちづくり推進部長** 今後も災害

を見据えた防災性能の高いまちづくりに取り組んでいく。

**水道部長** 災害時等で水道施設の

配水機能が喪失された際でも、安定した配水ができるよう県水直送管整備事業に取り組んでいる。今後も応急給水体制の強化を図りつつ、管路の耐震化を進め、災害に強い水道を構築していく。

**消防長** 令和8年4月1日開始の

共同消防指令センターでは、通報受信段階から災害情報の一元管理ができることにより、相互応援態勢が構築され、より効果的・効率的な応援態勢を確立していく。

**その他の質問** 農業政策。

## 避難所運営ゲーム HUGGの貸出しを

**議員** 突然の大規模災害に備えて、

地域で避難所の開設・運営訓練を行う必要があるが、指定避難所の多くは学校の体育館であることから、平時に気軽に訓練することは難しい。そこで、机上でシミュレーションして訓練を行えるよう考案されたのが、「避難所運営ゲームHUGG」である。このHUGGを市民主体で開催できるように貸

出しすることで、「共助」に対する理解を深め、防災に取り組む人材の裾野を拡げることにつながるのではないかと。三郷市のこれまでのHUGGに対する取り組みと、市民への貸出しについて伺う。

**危機管理監** 本市では、昨年7月

に市の指定避難所参集職員を対象に、HUGGによる避難所開設運営訓練を実施した。災害時には救済物資の受け入れや罹災証明書の交付など、様々な業務が発生し、市の職員だけでは避難所運営が困難であり、地域の皆様の協力が欠かせない。市民が誰でも避難所を運営する可能性があるという意識を持ち、HUGGによる訓練を経験してイメージを掴んでもらうことは、大変有効な避難所開設運営訓練になるものと考えている。市のホームページや広報誌などを通じて、広く市民にHUGGのキット貸出しを周知していきたい。

**その他の質問** こども政策問題など。



避難所開設運営訓練

## 救急医療情報キット

### 配布事業についで

**議員** ひとり暮らしの高齢者が増加する中、同居家族のいない高齢者が救急車を要請した際、迅速な救急活動の一助になるよう救急医療情報キットを無料で配布している。開始から14年目を迎えた事業の現状と課題を伺う。

**いきいき健康部長** このキットに入れる用紙には、かかりつけ医療機関・持病・服薬内容等の情報を本人が記載し、冷蔵庫に保管したキットを救急隊員が取り出し搬送先に伝える仕組みである。ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方に市の窓口や民生委員を通じ無料で配布しており、現在1,654人が利用している。消防本部とは申請書に記載



救急医療情報キット

の氏名と住所が情報共有され、出場時に活用されている。キットの定期的な情報更新は課題であるが、国において、マイナンバーカードを活用して情報を把握し円滑に搬送するシステム構築の実証事業を実施中である。また、登録者以外の情報用紙を救急隊が発見した場合でも正規の情報として扱っている。日中独居の高齢者や高齢者夫婦世帯でも必要な方には配布を行っているため、情報共有の面からも統一された方法で利用していただきたい。

## 「生活保護のしおり」は わかりやすく丁寧

**議員** 「生活保護のしおりは」は生活保護を申請・利用する際の案内書であり、生活に困窮した市民と生活保護をつなぐ架け橋となる資料です。生活保護のことを正しく知るために生活に困窮する市民を救済する立場で、市民に提供する広報資料であり、自治体の生活保護への姿勢が如実に現れると言われています。現行の「生活保護のしおり」は5ページで編集されていますが、松戸市のしおりは17ページにわたり、字を大きくしてわかりやすく丁寧な

説明書となっています。本市においても、生活保護を利用する権利の具体的な記述、一時扶助があること、資産などの調査について詳しく記載し、わかりやすく、丁寧な「しおり」に見直すべきではないか。

**福祉部長** 生活保護のしおりについては、制度改正時はもとより、常に利用者に必要な情報を適切に提供できるよう留意するとともに、面接時等において、相談者が制度内容やルール等などの部分に疑問を生じやすいかなどを認識し、参考にしながら随時更新・改訂を行っている。保護のしおりは相談面接時のみならず、問い合わせや生活保護開始後のケースワークにおいても使用することから、他市の状況も参考にしつつ、生活保護制度や注意点等について相談者、被保護者にとってわかりやすく、見やすい内容となるよう、引き続き改善に努めていく。

**その他の質問** 住宅問題など。

## 必要な支援が届くよう、 就学援助の拡充を

**議員** 就学援助制度はごもたちが安心して学校に通えるよう、入学用品費、学用品費、給食費などの費



用の一部を援助するものだ。物価高騰により、貧困と格差がますます広がっている。必要な支援が届くよう、制度の拡充が求められている。国の基準にはクラブ活動費、PTA会費などの項目があり、それらも援助の対象となっているが、本市にはない。また認定基準額は他自治体と比べて低く、利用が抑制されていると考える。3点伺う。①実施状況②項目の拡充を③認定基準額を引き上げ、対象者の拡充を。

**学校教育部長** ①本市における就学援助費の認定状況は、令和5年5月の申請における割合は、小学校全体に対して7.3%、中学校全体に対して、9.5%である。②引き続き調査・研究していく。③生活保護の認定状況により、要保護世帯に対して修学旅行費の就学援助費支給があることなどから、市全体での支援としては広く行っているものと認識している。

**その他の質問** 公園問題など。



## マンホールトイレの 拡充について

**議員** 発災後すぐに必要になるのはトイレであり、トイレの備蓄は最

優先であることをこれまでの震災から学ぶ事が出来る。被災直後に用を足せる場所として「マンホールトイレ」があるが、三郷市のマンホールトイレ・マップによると、公園など11か所に設置されている。その多くは放水路北側であり、南は県の施設であるみさと公園しかない。地域全体として整備不足であると言わざるを得ない。特に、南部地域に対しての拡充が急務と考えるが、見解は、**市長** 市でも、災害発生時に避難者のトイレ環境を整備することが重要であると考え、マンホールトイ



マンホールトイレの一例

リの整備、簡易トイレ等の備蓄など、問題解消に向けた取り組みを進めている。また、来年度にはトイレトレーラーの導入を予定している。今後も災害発生時に誰もが安心、安全にトイレを使用することができるよう、効果的な手法を検討し、避難所の衛生環境の向上に努める。

**危機管理監** マンホールトイレは、現在11か所の公園・公共施設等に設置されており、整備中の(仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設にも6基設置予定である。今後も新規で整備する公共施設や公園へのマンホールトイレの設置について、関係部署に積極的に働きかけ、避難者が健康を害することのないよう様々な取り組みを進めていく。

**その他の質問** 少子化対策について。

## 意思疎通支援について

**議員** 高次脳機能障がいや視覚障がい、聴覚障がい等、多岐にわたる意思疎通支援を必要とする方への支援を今後整備していく方針が、三郷市障がい者計画・第7期三郷市障がい福祉計画・第3期三郷市障がい児福祉計画(案)で示された。具体的

な支援として他市で広がりつつある①入院時における支援者派遣等の支援、②失語症の方への支援者派遣等の支援を本市においても取り組みの一步目として進めていくことが必要であると考え、市の見解は。

**福祉部長** ①入院時の支援については円滑に医療行為を受けられる、不安軽減に繋がるといった効果が期待される為、先進自治体の取り組みや障がい者団体を通じて支援者や障がい当事者への聞き取り等を参考に検討していく。②失語症者への支援については、県の第7期障害者支援計画案に「失語症者への支援員派遣を行う市町村を県が支援する」と記されており、その支援内容などについて精査し、検討していく。

**その他の質問** 教育問題。

## 医療的ケア児など地域保育所での受け入れについて

**議員** 仕事・子育て両立支援事業における医療的ケア児に対する支援について、「医療的ケア児が適切な医療的ケアその他の支援を受けられるようにするため、保健師、助産師、看護師若しくは准看護師又は

喀痰吸引等を行うことができる保育士若しくは保育教諭の配置その他の必要な措置を講ずるものとする」とあります。三郷市における医療的ケア児の保育所での受け入れについての現状と課題、また今後の方針について伺います。

**子ども未来部長** 令和5年8月に「保育所における医療的ケア児の受け入れ及び実施に係るガイドライン」を策定し、上口保育所及び丹後保育所の2つの公立保育所において、看護師の常時2名配置や職員研修など必要な措置を講ずることで受け入れできる体制を整えている。

一方、私立の保育園や認定こども園等の保育施設においては、課題も多く、受け入れが難しい状況であると認識している。

今後は、ガイドラインに基づき継続的に医療的ケアが必要な児童の受け入れに対応できるよう、基幹保育所と位置付けている公立保育所のうち、引き続き2施設において専門的な対応が取れる体制を維持していくとともに、私立保育園等での受け入れにかかる課題を整理していく。

**その他の質問** 学校教育問題についてなど。

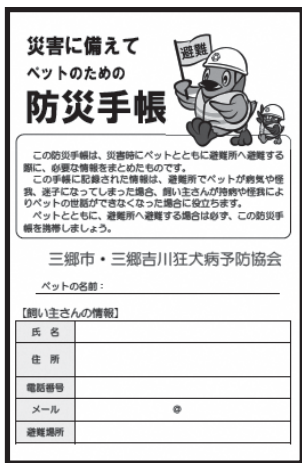
## ペット同行避難について

### 議員

災害発生時、飼い主が犬や猫等連れて避難所に避難する同行避難がある。その際、ペットが苦手な方やアレルギーのある方への配慮を含め、多くの避難者を不安や混乱をさせないことが重要となる。ペット同行避難をスムーズに行うため、ペットを連れて避難者向けに、まず初動として何を行うのか、誰が何の役割をするのか、などが詳細に記載されているスターターキット等の仕組みが避難所に必要だと思う。①避難所の準備と対策は。②飼っていない方への周知の必要性について、このように考えているか。

### 危機管理監

①飼い主が責任を



持って世話をすること、ルールを守ることを原則として、全ての避難所においてペットの同行避難に対応できるよう準備をしている。スターターキットは、整備される事により誰でも取るべき行動が可視化され、初動の混乱を避けることが出来ることから、ペット同行避難の理解に繋がるコンテンツとして導入に向けて取り組んでいく。②飼っていない方に理解を深めていただく必要があることから、広報みさとや防災イベントなどでも広く啓発活動に取り組んでいく。

### その他の質問

情報発信。

## 小中学入学の案内と同送される 予防接種のチラシについて

### 議員

小学校中学校新入学の案内の封筒に予防接種を促す内容のチラシが同封されているが、小中学入学時に接種が義務とされている予防接種はないはずである。このような送付は入学前に接種をしなければという誤解や圧力を与えている。なかでも「接種すべき」と記載されている「子宮頸がんワクチン」については、現在、全国4か所で129名の若い女性が訴訟中であり、体調

不良の子どもなど深刻な有害事象の可能性が問題となっている。ワクチンビジネスに偏らない公平公正な情報の提示を行うべきと考えるが見解は。

### いきいき健康部長

入学前に義務となっていない予防接種はない。小中学校への入学という新しい集団に属する状況、タイミングにおいて、様々な疾病を防ぐことを目的に、法令に定められた対象期間に接種できるワクチンについてお知らせするチラシを、入学の案内通知に同封して送付している。接種は義務ではないことを踏まえ、チラシの内容等については今後検討していく。

### その他の質問

歴史教育問題。

## 議員定数削減を

### 議員

全国の合計特殊出生率は、1.26、本市は1.3だが、岡山県の人口6,000人足らずの奈義町は、2019年の出生率が2.95まで回復し、少子化対策の「奇跡のまち」としてその関心は高く、総理大臣をはじめ全国の自治体や議会の視察が絶えず、「子育て応援宣言の町」は、月に10件近い視察がある

ようだ。奈義町は平成の大合併を拒否して、単独町村を決めた2002年、人口減少の危機感から、まず議員定数削減の改革を断行して1億5,600万円の予算を捻出し、これを最初の原資として、段階的に若者・子育て世代向け施策を拡充し、現在も全施策を人口維持に振り向ける姿勢を明確にし、高い出生率が維持されている。本市においても身を切る改革で議員定数を減らし、議会費用の削減分を少子化対策に上乗せし、人口増加の諸策を講じたらどうかと考えるが、市長の見解は。

### 市長

少子化対策は大変重要な施策であり、本市においては、4月1日から「子ども家庭センター」を設置し、国・県の各種補助金を活用しながら子育てに関する各種施策を充実させるところである。

二元代表制の一翼を担う市議会議員の皆さまには、地域のご意見などを市政へ届けていただいていることから、人口規模に見合った一定数の人数が必要であると認識している。議員定数削減にあたっては、以前から議会において議論があることから、推移を見守りたいと考えている。

### その他の質問

廃校舎利用など。

## 三郷中央エリアに

### 児童館を！

#### 議員

本市は埼玉県の中でも、TOP5に入るマンモス小学校が2校もある地域にも関わらず、三郷中央地区は児童館がなくて困る。という声を、保護者や職員から話を聞く。しかし、日本全体的に、学校や公共施設を多く作ってしまい、新しい施設を作るのは控える。という流れもある。そこで、空き家や空き店舗、公共施設の空き時間の活用など、弾力的な運用を行うことで、児童館の役割を持つ場所を作り出すことについて伺う。

#### 市長

三郷中央地区は、子育て世帯などの多くの方が転入している。



北児童館の遊戯室

こども居場所については、総合的に検討していく。

#### 子ども未来部長

市内には北児童館、早稲田児童センター、南児童センターの3つの児童館があり、五感を育てる活動を行っている。3館合計で令和4年度は4万2,761名、令和5年度は6万5,000名の利用があった。児童館がない地域では、令和3年度から「移動児童館」を実施している。三郷中央地区のこどもの居場所については認識している。今後については、既存の施設を活用したこども向けの事業を開催するなど工夫していく。

#### その他の質問

教育問題など。

## 市内窓口における 取扱いについて

#### 議員

デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術の活用を通して生活やビジネスを変革することだが、行政にも徐々に事業展開している。本市でも税の窓口払いとセルフレジが導入されたが、グローバル社会では、こうした取引が容易にできる環境を整えていくことは有効である。①本市での具体的な取り組みは。②海外では

ポケットエンジンというサービスもあるが、埼玉県内にも導入が必要ではないか、本市の考えを伺う。

#### 財務部長

①市役所1階の窓口には、各種証明書の発行手数料を支払うための現金及びクレジットカード、電子マネーなどによるキャッシュレス決済が可能なセミセルフレジを導入している。また、市税については、クレジットカード、スマートフォンを使用したキャッシュレス決済による納税が可能となっている。②外貨による納税は、日本における通貨が法律により円とされていることからできないが、納税環境の整備については、今後とも努めていく。

#### その他の質問

医療問題など。

## 中学校部活動の 現状と課題

#### 議員

市内には8つの中学校があるが、地域によって生徒数の増減に大きな差が生じている。三郷中央駅に学区が隣接している北中学校・栄中学校は、今後ますます生徒数が増加する見込みだが、他の6校は既に生徒数は減少傾向にある。部活に参加している生徒の適正化を考えた



ときに、生徒数の増減に合わせて部活の新設や削減が追い付いていないために十分な練習ができていないことや、教員の多忙化などが本市の部活動の地域移行の理由の一つとして考えられるが、部活動の現状と課題について伺う。

#### 学校教育部長

部活動の指導は、一部、外部指導者で実施しているが、ほぼ全ての部活動は教員が指導を行っている。課題は、部員数の減少により複数校合同部活動を実施せざるを得ない状況となっていくこと、競技経験のない教員が指導を行っていること、また、教員の勤務時間増大等が挙げられる。教育委員会では、月に一度、市内の中学生が参加できる地域クラブの試行を実施しており、今後は、試行による成果と課題を踏まえ、生徒が安心して地域クラブ活動へ参加できる取組に努めていく。

# 第1回臨時会及び3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

## ■第1回臨時会

○=賛成 ×=反対

号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会
市長提案 1	令和5年度三郷市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○

## ■3月定例会

号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会
市長提案	2 三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	3 三郷市犯罪被害者等支援条例	可決	○	○	○	○	○	○
	4 三郷市運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	5 三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	6 三郷市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	7 三郷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	8 三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	9 三郷市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	10 三郷市公共下水道事業の設置等に関する条例、三郷市水道事業の設置等に関する条例及び三郷市監査委員条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	11 三郷市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	12 三郷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	13 三郷市児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	14 令和5年度三郷市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○
	15 令和5年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○
	16 令和6年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	17 令和6年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	18 令和6年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	19 令和6年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	20 令和6年度三郷市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	21 令和6年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	22 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
	23 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
	議案提出 24	若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○
請願	1 学校給食の無償化を求める請願書	不採択	×	○	×	○	×	×

※議長は採決に加わっていません。  
※このほか要望2件がありました。

会派名（人数）	所属議員名
新政会（8）	武居 弘治、篠田 正巳、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ（6）	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人、一色 雄生
公明党（5）	鈴木 深太郎（議長）、酒巻 宗一、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党（3）	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい（1）	市川 文雄
政志会（1）	佐藤 裕之



議会あれこれ① 請願

市民要望としての請願が3月定例会に1件提出されました。結果をお知らせします。

請願第1号 「学校給食の無償化を求める請願書」

請願者 新日本婦人の会 三郷支部 支部長 関口 とし子

常任委員会での主な意見

- 子どもたちを大切にしようという思いであることから、しっかりと議論していく必要がある。請願事項の「国・県に対して小中学校の給食費を無償化するよう強く働きかけてください」は、本市においては、行動は取っている。本来、国がイニシアチブを取ることが基本であり、近いうちに動くのではないかと予測している。三郷市議会としても、国に対して要望書を出すことについて、早急に取り上げるべきと考える。
- 最初から小・中学校全てではなく、2人目、3人目のお子さんの給食費無償化や、中学校より小学校から先行し実施するなど、段階的な運用として行っていくことは予算ベースとしては十分に可能なのではないかと。
- 三郷市議会として、国に給食費の無償化を強く求める文言が入った意見書を既に提出しており、市長からも、国に要望として働きかけていることを確認している。給食費無償化に関しては賛成だが、国が国の課題と捉え、国の予算で実施すべきである。こども家庭庁の「こども戦略未来会議」で給食費無償化の施策や案は第1項目として取り上げていることから、国も課題として認識していると実感している。本市の限りある予算は、子どもから高齢者まで、皆(みな)に平等な使い方をするべきであり、給食費無償化は、国が予算化し、実施するべきものとする。

本会議での討論

- ◆子育て世帯が受ける恩恵は多大であると認識しているが、本市で給食費無償化とした場合、約6億円の経費が必要とされる。よって、現在ある公共サービスの低下、給食の質や量の低下が懸念されるのではないかと。子どもたちが等しく、安心安全な給食を食べられる環境を保障するのは国の責務と考えることから、市の財源からの無償化には反対である。
- ◆国からの財政支援を待つまでもなく、努力する自治体が存在する。無償化は予算の約1%で実現できる。子どものために決断が出来るかどうかだ。踏み出さなければ良い施策は実現しない。給食の質を確保し、かつ安心して子どもを育てられるよう、子育て世代の切実な願いである、学校給食費の無償化を求める立場から、賛成する。

いただきます!



請願結果 不採択

# 国・政府に要望

3月定例会では1件の意見書を提出しました。

**議案第24号 若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書**

**（要望事項）**

1. 現在、濫用等の恐れがある医薬品の6成分を含む市販薬を販売する際、購入者が子ども（高校生・中学生等）である場合は、その氏名や年齢、使用状況等を確認することになっっているが、その際、副作用などの説明を必須とすること。
2. 若者への薬剤の販売において、その含有成分に応じて販売する容量を適切に制限すると同時に、対面かオンライン通話での販売を義務づけ、副作用などの説明と合わせて、必要に応じて適切な相談窓口等を紹介できる体制を整えること。
3. 濫用の恐れがある薬の指定を的確に進めると同時に、身

分証による本人確認のほか、繰り返し購入による過剰摂取を防止するために、販売記録等が確認できる環境の整備を検討すること。

4. 若者のオーバードーズには、社会的孤立や生きづらさが背景にあるため、オーバードーズを孤独・孤立の問題として位置づけ、若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

## 「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



## 議会あれこれ②

### 【視察研修を行いました】

- 「新政会」… 1月15日に京都府宇治市の「宇治市のりあい交通事業」について、16日に京都府京都市の「さすてな京都（京都市南部クリーンセンター環境学習施設）」について、17日に京都府京田辺市の「産前・産後ホームヘルパー派遣事業」について。
- 「公明党」… 1月17日に愛知県北名古屋市の「地域回想法」について、18日に愛知県大府市の「おおぶ子ども・子育て八策」について、19日に愛知県長久手市の「ペーパーレス会議システム・議会のタブレット端末導入」について。

### 【他市からの行政視察がありました】

- 「陸上競技場公園（セナリオハウスフィールド三郷）」について… 1月19日に久喜市議会福祉健康常任委員会。
- 「インクルーシブ公園整備事業」について… 1月23日に島根県益田市議会福祉環境委員会。

## 人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

**堀切 茂友氏（上口一丁目）**

**浅賀 正行氏（高州一丁目）**

## 【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768  
FAX048(953)1358

## ..... 傍聴のルール .....

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

## ..... 傍聴 Q&A .....

**Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。**

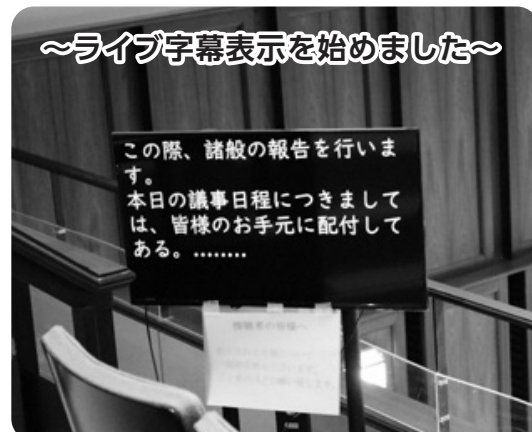
A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、本庁舎7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

**Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。**

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

**Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。**

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。



傍聴席に、発言内容をリアルタイムで表示する字幕モニターを設置しました。

## 令和6年6月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
6/3	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
6/5	水	
6/6	木	委員会
6/11	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
6/12	水	
6/13	木	
6/14	金	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の6月定例会は6月3日(月)午前10時に開会予定です。

# わたしも ひとこと



## 共に思いやりの心を

インストラクター 40代 中央在住

三郷市で子育てをされていて、とても生活がしやすく、どこに行くにしてもアクセスが良くて、大変暮らしやすいなと感じております。車を運転しなくても、電車で都心や近くのショッピングモールに行けるのはとても魅力だと思います。一方で、オムツ替えや授乳室の利用、子供の遊び場所、市の情報など、もう少し配慮をしてくれればいいのに・・・と感じる部分があります。多くのことは望みませんが、より生活の質が上がるように動いて欲しいです。

## 子育て世帯に笑顔を！

主婦 70代 東町在住

最近、給食費無料の葛飾区から転居して来た子育て中の方が、毎月三人の給食費が大変だと嘆いていました。小学生二人と中学生で年間九万五千円を超えるそうです。

本来、給食は義務教育の中で食育として位置付けられ、どの子にとってもみんな平等で一緒に食べる楽しい時間のはずです。

市内でも給食費無料の署名もたくさん集まったときいています。給食費で親たちが困ることなく、三郷が子どもまん中で、子育てがしやすい市だと誇れるようになって欲しいものです。



## 令和6年能登半島地震災害義援金について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

三郷市議会では、一日も早い被災地の復旧・復興を支援するため、1月24日、議員研究会費（互助会費）から北信越市議会議長会経由で義援金を送付しました。

